



待っています あなたの声を

悲しい

つらい

助けて

苦しい

こころの健康相談統一ダイヤル

おこなおう まもろうよ こころ
 **0570-064-556** (有料)

相談対応曜日・時間は
都道府県によって異なります。

電話をかけた所在地の都道府県・政令指定都市が実施している「こころの健康相談電話」等の公的な相談機関につながります。

SNS相談事業

厚生労働省 SNS相談

よりそいホットライン

24時間対応

一般的な生活上の悩みをはじめ、生活困窮者等に対する総合的な電話窓口です。

フリーダイヤル つなぐ ささえる
 **0120-279-338** (無料)

FAXでの相談の方
 **03-3868-3811**

岩手県・宮城県・福島県内からおかけの方
ガイダンスで専門的な対応も扱えます。(外国語含む)

フリーダイヤル つなぐ つつむ
 **0120-279-226** (無料)

IP電話及びLINE OUTからおかけの方 **050-3655-0279** (有料)

支援情報検索サイト

電話、メール、SNSなど様々な方法の相談窓口をご紹介します。

支援情報検索サイト

みんなで取り組もう
いのち支えるゲートキーパー

いつでも
だれでも
どこでも

変化に気づく

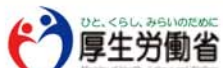
じっくりと耳を傾ける

支援先につなげる

温かく見守る

3月は、自殺対策の強化月間です

詳しくは



EVENT
イベント情報

3月

とみかわ児童館

- 2日(月) ひなまつり
- 5日(木) キラキラちゃれんじ
- 6日(金) カミであそぼう
- 12日(木) かんちょうとあそぼう
- 13日(金) スーパーじどうくらぶ
- 19日(木) カレンダーづくり
- 25日(水) とねっこおはなし会
- 26日(木) ぬりえのひ
- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 毎週日曜日、祝日
- お問合せ とみかわ児童館 電話 01456-2-3044

もんべつ児童館

- 3日(火) ひなまつりの会
- 6日(金) わくわくちゃれんじ
- 11日(水) ニコニコわかばのおはなし会
- 13日(金) カミであそぼう
- 18日(水) ぬりえのひ
- 26日(木) わくわく映画館
- 27日(金) カレンダーづくり
- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 毎週日曜日、祝日
- お問合せ もんべつ児童館 電話 01456-2-5522

子育て支援センターわくわく館

行事予定・休館日は34ページに掲載しています。
※毎週水曜日は「サークル開放日」

- お問合せ わくわく館 電話 01456-2-3048

門別図書館郷土資料館

- 利用案内
- *図書館に無い本はリクエストできます。
- *門別図書館で借りた本の返却は、日高図書館・門別公民館・厚賀コミュニティセンターでもできます。
- 開館時間 火~金 10:00~18:00
土・日 10:00~17:00
- 休館日 毎週月曜日・20日(金)・31日(火)
- ※休館中の本の返却はブックポストをご利用下さい。
- お問合せ 門別図書館郷土資料館
電話 01456-2-3746

門別中央スポーツホール

- お問合せ 教育委員会 電話 01456-2-2451

門別総合町民センター

〈スポーツセンター〉

- 1日(日) 混合バレーボールフェスティバル
- 8日(日) 第96回6人制ミニバレーボール大会
- 22日(日) 第37回日高町バドミントン協会会長杯
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 毎週月曜日
- お問合せ 教育委員会 電話 01456-2-2451

〈福祉センター〉

- 22日(日) 日高町町民芸術文化鑑賞事業
『鬼太鼓座 D R A M A 〔開天闢地〕』
- 29日(日) 日高管内囲碁大会
- 開館時間 9:00~21:00
- お問合せ 教育委員会 電話 01456-2-2451

日高山脈博物館

- 開館時間 10:00~15:00(11月~3月)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜)
- お問合せ 日高山脈博物館 電話 01457-6-9033

日高町民センター・総合体育館

- 開館時間 9:00~21:00(日曜日は9:00~17:00)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
- お問合せ 教育委員会分室生涯学習課
電話 01457-6-3858

日高図書館郷土資料館

- 開館時間 10:00~17:00
- 休館日 毎週月曜日
- お問合せ 日高図書館郷土資料館
電話 01457-6-2469

まちの話題



節分お楽しみ会



2月3日、日高保育所において、子育て支援センターと保育所合同の「節分お楽しみ会」が行われました。

保育士から節分の由来を聞き「紙芝居」を見ていた子ども達の前に赤鬼・緑鬼が太鼓の音と共に登場すると、ビックリしてお母さんにしがみついたり顔は引きつっていたけれど、勇敢に鬼に豆をぶつける子、保育士に守ってもらう子どもなど様々でした。

沢山の豆をぶつけられて、鬼が退散した後、子ども達は豆まきの後の福拾いを楽しんでいました。

